



気高SGHN通信

文部科学省認定スーパーグローバルハイスクールネットワーク校



SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

海を素材とするグローバルリテラシー育成

～世界を舞台に活躍するスケールの大きな人材を目指して～

No. 2 令和3年6月8日

宮城県気仙沼高等学校

今年も気仙沼中学校と連携

5月27日(木)の6・7校時に3年4組の岸佑衣子さんと齋藤将太さんが気仙沼中学校の生徒へ向けてオンラインで課題研究の発表を行いました。岸さんは「在宅で看取りやすい社会を創るには～高校生ができることとは～」、齋藤さんは「メンズメイクに対する父親世代の足かせとなっている固定的な考え方とは」というテーマで発表し、研究活動の中で考えたことやイベントを開いた体験談、実演などを織り交ぜながら熱心に研究内容を伝えていました。

発表後、中学生からは「仮説を立てる上でのコツはあるか」、「インタビューはどのようにして行ったのか」「なぜ、このテーマで研究しようと思ったのか」など多くの質問が寄せられ、岸さんと齋藤さんは今までの研究活動を踏まえて、自分なりの研究手法やコツを話していました。

発表を終えて、二人は「最初は緊張したが、たくさん質問が寄せられて驚いた。熱心に発表を聞いてくれたため、楽しく研究発表をすることができた。」と話しており、7月に行われる最終発表会に向けて気持ちを新たに頑張りたいと思います。



2学年の探究活動

2学年創造類型は課題研究Ⅰ, 人文類型・理数類型は総合的な探究の時間において、探究活動を開始しました。昨年度、地域社会研究で学んだ知識や姿勢を活かし、思考力やコミュニケーション能力の向上を目指すため、積極的に講義に耳を傾け、グループワークに取り組んでいる姿が多く見受けられました。

課題研究Ⅰは自分の興味や関心を探る「自分マトリックス」や「マインドマップ」、各種調査方法の理解、テーマ設定に取り組みました。また、4月には台湾の北門高級中学とのオンライン交流会を実施し、英語でのコミュニケーションに挑戦しました。

総合的な探究の時間では自分の進路と興味・関心を見据える「人生グラフ」や「マインドマップ」や 先行研究調査やデータの取り扱いについて学びました。

また、本年度からGoogle Workspaceと呼ばれるICTツールの活用を目指し、生徒向けの講習会を実施しました。今後は10月の中間発表会に向けて、生徒各人が研究活動を本格的に進めていく予定です。

北門高級中学との交流の様子

